

生活支援コーディネーター通信

買い物難民の救世主

神栖市長寿介護課
2021年2月発行 Vol.1

「買い物難民」という言葉を聞いたことがありますか？それは、高齢者の平均的な徒歩移動距離500m～1kmの範囲内に、生鮮品を扱う店舗がない地域に住む主に高齢者の事です。高齢者の困り事として上位に上がるのが、「日常の買い物」と「交通の便の悪さ」です。歩いて行ける場所に、商店街やスーパーが無かったり、歩いて行けたとしても重い荷物を持って家まで帰る体力はなく、なかなか自由に買い物に行けない「買い物難民」が社会問題になっています。

そこで注目を浴びているのが**移動販売**です。神栖市では初出店となる**移動スーパー「とくし丸」**セイミヤの販売代行として昨年8月開業後、「見守り活動への協力に関する協定」を市と締結しました。「**地域の見守り隊**」の役割も担ってくれています。神栖市の生活支援コーディネーターとして、こんなに素晴らしい活動があるならば是非訪問したいっ!!!と思い、下幡木地区の販売時に同行させて頂きました。

お客様一人一人と向き合いながら、地域活性化を目指して日々頑張っております。店長のお陰で新鮮な商品の提供が出来ております。

(月,木) 鰐川・下幡木・堀割 方面

(火,金) 溝口・日川・知手・柳川 方面

(水,木) 息栖・高浜・神栖・大野原 方面

お問い合わせ

移動スーパー とくし丸

☎090-7236-6546

とくし丸 『おかベ号』
岡邊 清志 さん



とくし丸の販売の様子



400品目揃えています



買い物ついでに井戸端会議



重い荷物を玄関先まで運ぶ岡邊さん



一緒に商品を探します

利用者さんの声

とくし丸を待つ時間、皆で集まりお話しするのも楽しみの1つ！

欲しい物を伝えると、次に持ってきてくれるスーパーまで遠くまで行けないので助かる。

実際に見て買えるのが嬉しい。

岡邊さんが本当にいい人！毎週会うのが楽しみです。

買い物難民が社会問題になっている今、実際に「見て、触って、選べる」移動スーパーの必要性を強く感じました。そして、人とのふれあい、心を通い合わせる仕事の素晴らしさを再確認させて頂きました。

「とくし丸は皆さんに助けられています。皆さんが居なければ、とくし丸は続けられないです。」と岡邊さんは答えてくれました。移動スーパー「とくし丸」は、お客様への「感謝」と「敬意」で成り立っていました。そして「とくし丸」が訪れる先には、地域住民の居場所が自然とでき、楽しいおしゃべりと笑顔が沢山溢れていました。